

アフリカポップアートを体験する
ティンガティンガ
オンライン・ワークショップ



コロナ禍で収入減の現地アーティストを支援！

ティンガティンガ村からのライブ中継！

2021・11・7

アフリカ理解プロジェクト

まる方は手を挙げてください。〈タンザニア、またはアフリカの他の国に行ったことがある、ティンガティンガを以前から知っている、あるいは絵を持っている方が、思ったより多くいらっしゃいました〉ありがとうございました。参加者のみなさんのことが少し分かりました。それでは、**タンザニアへつなぎます。友美さん、ライモンドさん ~お願いします~**

タンザニアティンガティンガ村からライブ中継



こんにちは！私は Raymond Peter Kambili (ライモンド・ピーター・カンビリ) です。ティンガティンガの画家です。ティンガティンガ村からライブ中継をしています。タンザニアは今、午前 10 時、乾季に入ったのでとても暑いです。これから村のなかを案内します。

今日、日曜日の朝は教会に行く人が多いので、今仕事をしているアーティストは 5~6 名です。〈アーティストひとり一人を紹介。正式な挨拶ではないけど、若者を中心によく使われる Manbo! (マンボ: やあ元気!) Poa! (ポア: 元気だよ!) をライモンドさんから教わり、みんなで挨拶。

作業の様子、アーティストの普段の姿、壁にかけられた数々の作品、お土産物として販売されるネームプレートやマコンデ彫刻紹介などをライブで案内。ティンガティンガアーティストや村に親近感のわくライブ配信でした！



ティンガティンガ村はいかがでしたか？まるで、村のなかを歩いているような臨場感でしたね！ここからは、ティンガティンガとは何か？友美さんに簡単に解説していただきます。~友美さんお願いします~

ティンガティンガとは？

1) 本日の講師ライモンドさんのプロフィール



Raymond Peter Kambili ライモンド・ピーター・カンビリ 1986年、ダルエスサラーム生まれ。22歳のときに、6歳上の兄を師として、ティンガティンガアートの道へ。2020年12月～2021年3月まで3か月間来日。東京、京都、大阪、奈良、兵庫、岡山、広島で実技披露。自由な発想から生み出す、繊細かつ色鮮やかで大胆なデザインに多くのファンを持つ若手アーティスト。

2) タンザニアの説明

インド洋に面したタンガニーカ（本土）とザンジバル（島嶼）から成る連合共和国。1961年イギリスから独立。（ザンジバルは1963年）。面積 約94.5万平方km（日本の約2.5倍）人口 約5,800万人（2019年：世銀）首都 ドドマ 商都 ダルエスサラーム。宗教 キリスト教 約40%、イスラム教 約40%、伝統宗教 約20%。言語 スワヒリ語（国語）、英語（公用語）。



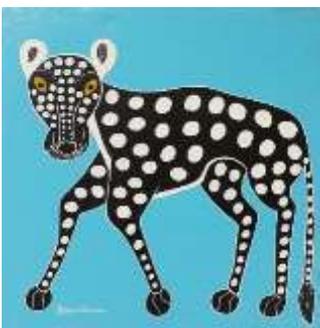
3) ティンガティンガアート

1960年代、エドワード・サイディ・ティンガティンガ（1932年 - 1972年）が描いた絵が始まり。油性ペンキを灯油で混ぜ、色を作る。下地（乾燥・やすり）⇒背景色（乾燥）⇒アウトライン（乾燥）⇒色付（乾燥）3～5日程度。



4) バラエティ豊かな作品

動物や植物、伝統的な生活、民話、マコンデ彫刻、人々や暮らしなどがモチーフ



5) ティンガティンガアート共同組合



1990年、アーティスト自身が組織。（通称：ティンガティンガ村）正規メンバー57名（2021年現在）。入会は19歳以上、審査あり。年会費、年2回総会出席が必要。3年任期のボードメンバーを任命。作品の売上は、85%はアーティスト、15%は組合へ。

6) 日本とのつながり

1996年、画家に転向したジミー大西さん。2010年、NHKのドキュメンタリー番組でティンガティンガ村で10日間修行し、以来、画風に大きな影響を受ける。ほかにも2007年のスターバックスジャパンのタンザニア・アート展の取り組みなどを紹介している。



7) 海を越えるポップアート（さまざまな商品展開）

これまで国内にやってくる観光客への販売が中心だったが、コロナ禍で観光客の激減により、SNS を通じて顧客と直接やり取り、さまざまな商品展開（スマホケース、ロゴマーク、SNS アイコン用の絵）など、コロナ禍を乗り切るための努力をしている。



ティンガティンガの描き方

ティンガティンガを理解したところで、次は、どのように描かれるのかライモンドさんの制作風景を動画で観てみましょう。この動画制作は、コロナ禍でやはり仕事を失っている現地のカメラマンチームに依頼しました。治安の関係で観光客が入れない場所も映っている貴重な映像です。



●動画（13分）視聴●

アーティストとの交流

ここからの時間は短いですが、ライモンドさんとみなさんとの交流の時間にしたいと思います。事前に、みなさんから、たくさんの質問を頂いています。ありがとうございます。残念ながら時間内に全部お答えできないので、質問を頂いた順番で5問、選ばせていただきました。答えられなかった質問は、報告書に記載します。どうぞご了承ください。※質問者は日本語で質問、主催者が通訳する形で行う。

Q 新井田さん：タンザニアにはたくさんの動物がいると思いますが、実際に見たことのある動物だけを描いていますか？見たことのない動物も描けますか？

A ライモンドさん：自分が見たことがあって知っている動物を描いている。近郊にあるミクミ国立公園に行けばたくさん動物がいるので、実際に動物を見てデザインを思いつくこともある。見たことがない動物であっても、お客さんから頼まれたときは、写真などをもらって描くこともある。

Q 黒岩さん：特に現地で人気がある作風（描かれる対象）はありますか？逆に、海外で人気がある作風の特徴などはありますか？

A ライモンドさん：現地では、タンザニアの国の動物であるキリンが一番人気。2番目は、サファリの風景で、キリマンジャロや動物たちの絵。現地で買ってくれるのは外国人観光客が多いので、海外で人気の作風も基本は同じ。海外では、ヒョウやチーター、クジャクも華やかで人気がある。

Q 福山さん：ティンガティンガのアーティストにはどうやったらなれますか？弟子みたいな制度があるのでしょうか？

A ライモンドさん：今は、自分は生徒は持っていないが、頼まれて親戚や知り合いの子どもに教えたこともあるし、多くのアーティストが親戚や知り合いの紹介でアーティストになっている。絵が描けるようになったら（19歳以上なら）ティンガティンガアート協同組合のメンバーとして審査を受け、合格すれば、正式メンバーになれる。審査のときは、誰に習ったのかも重要視される。

Q 蒔田さん：おおよそ一日の生活リズム、行動パターンを教えてください。

A ライモンドさん：村は一年中無休だが、私は毎週日曜日は教会に行くので休みにしている。月～土曜日は、朝9時ごろに村に来て、夜7時くらいまで描いている。私は家では描いていない。

Q 菅野さん：日常生活において、コロナや地球温暖化の影響はありますか？

A ライモンドさん：コロナによって観光客が激減し、収入が激減した。地球温暖化により、農作物などの食糧品や電力、ガソリン代、バスなどの生活費が高騰し、生活を直撃している。

参加者からの自由質問

Q：タンザニアに行ったことがないが何をするのがおすすめか？

A ライモンドさん：ティンガティンガ村訪問、キリマンジャロ山などへ登山、サファリで動物を見ること、ダルエスサラームはインド洋に面している。海や島に行くことなどもおすすめ。

Q：ペンキを使って作品を書くが乾燥など難しい部分はないのか？

A ライモンドさん：ペンキ絵具とブラシを使って作品を描く。手を使って(動画の際に説明があったが、小指をキャンバスにつけてバランスをとるといった方法が紹介されていた)描くのでテクニックはいる。背景を塗ったあと半日乾燥させるなど、小さな作品でも3日程度の時間がかかる。

補足：ARPで日本でティンガティンガを描くワークショップ実施したことがある。ドライヤーを使って乾燥させ、次の色を入れるなど苦労した。オイルや溶剤を使うので換気も重要なポイント。

事前に参加者から届いた質問の回答

※ワークショップで説明されている質問は省略しています。お名前の表記も省略しています。

Q：今後の課題、目指していること、野望などがあれば教えてください。

A ライモンドさん：日本で展覧会を開きたい。今は自分のお客さんでは、日本のほかに、チェコのお客さんが大きな支援をしてくれ、チェコでギャラリーをつくってくれた。7歳と3歳の娘がいるので、教育もつけてあげたいし、家や車もほしい。

Q: 「日本」という国の印象と、生活の中に日本の影響はありますか？

A ライモンドさん: 日本は本当に素晴らしい国だった。特に技術が素晴らしかった。電車や新幹線に驚いた。食事もすべておいしく、人びとは親切だった。タンザニアでは、トヨタやスズキなどの車、ソニーなどのPC製品。コロナ前までは日本から青年海外協力隊が支援に来てくれていた。

Q: 他国の文化、アートの影響は今のティンガティンガ技法に影響を及ぼしていますか？

A ライモンドさん: マコンデ彫刻やジョージリランガの作品など、他のタンザニアアートの影響はある。

Q: タンザニアの小学校では絵を描く時間(アートの授業)はありますか？描くことだけで、生活は成り立つのでしょうか。副業をなさっていますか。

A ライモンドさん: 小学校でも日本と同じようにアートの時間はある。副業はしていない。コロナ後、収入がなくなり、絵をやめたアーティストも多い。

Q: 私的なお願いですが(可能でしたらお願いします) キジトラ柄の猫を家族に迎えました。ティンガティンガ技法で描くとすればどんな感じになさいますか。また、描き方のアドバイスをいただけると嬉しいです。

A ライモンドさん: 猫なので、ヒョウやチーターの描き方に近いと思う。写真をみせてもらったら、オリジナルで描くこともできるので、ぜひ注文ください。

Q: 下絵やデッサンはしますか？ **Q:** 上手く描くコツがあれば教えてください。

A: ライモンドさん: 私は下絵やデッサンはせず、直接描き始める。コツは、一つ目は先に動物の輪郭を描き、中を塗ってから、その上に細部を描いていくこと。輪郭を描く絵具は、その絵にあわせて何色を使っても構わない。二つ目は、細かい描写や線を描くときに、小指をキャンバスにつけて、支えにすること。そうすると安定して描ける。

Q: ティンガティンガアートには、非常にカラフルなイメージがありますが、多色使いをすることには、何か特別な意味が込められていたりする。逆に色数が少ないアートも存在するのでしょうか？

A ライモンドさん: 油性ペンキを使用しているのでカラフル。アーティストによっては、モノトーンなど色味の少ない絵を描く人もいるが、白と黒のモノクロであっても明度は高い。

最後に

ライモンドさん、友美さん、タンザニアから、楽しい時間をありがとうございます！タンザニアの現代美術に関する研究という書籍に、「ティンガティンガの様式は誰のものでなく、アーティスト全員の共有財産である」という一節があります。こうした思想もまた、ティンガティンガが、世界で類のないアートとして愛される理由かと思います。

みなさまにお送りした「作品リスト申し込み締め切り」は、明日8日となります。現地の作品を、このような形で購入できる機会はほとんどないと思いますので、積極的にご検討いただければと思います。

アフリカ理解プロジェクトでは、来年に向けて今回のようなライブで、アフリカのアート、テキスタイル、音楽などのワークショップを企画しています。今日、参加のみなさまには、案内をお送りしますので、またお会いできたら嬉しく思います。この後、送付されるアンケートへの回答も、よろしくお願いいたします。



<参加者特典レポート>

参加特典として参加者ひとり一人に、ライモンドさん直筆の原画（すべてデザインが異なる）を郵送しました。

「ティンガティンガの作品リスト（38点/29名のアーティスト）」をつくり、メールで参加者にお送りしました。12点の購入がありました。アーティストからは、「収入が激減していたので作品が売れて本当にうれしかった。とても励みになった！」「日本とつなぐライブワークショップは楽しかった！」「こんな形で作品を売ることでもできると勉強になった」という声が届いています。

ご購入支援してくださったみなさまありがとうございました！

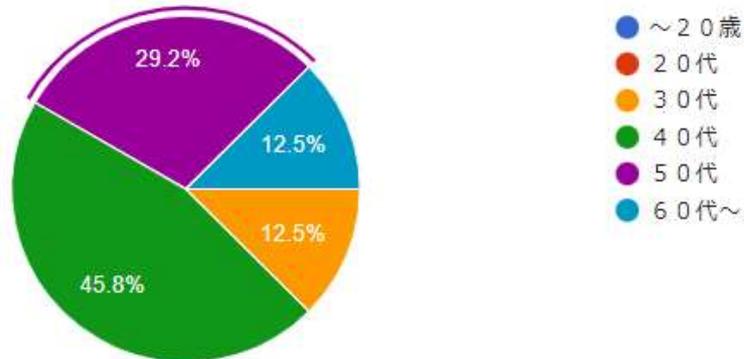


※不在のため写真掲載できなかったアーティストの方々もいます。

<アンケート回答>

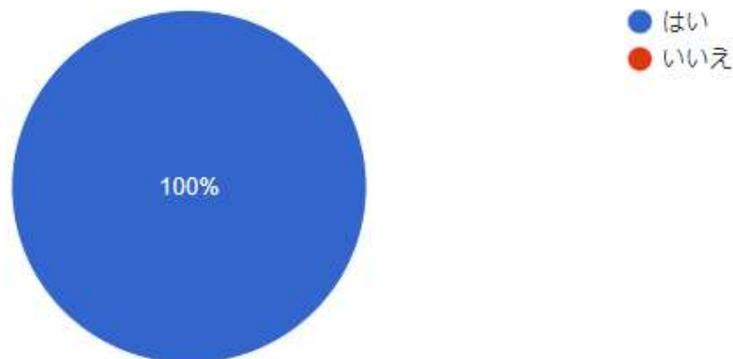
あなたの年代を教えてください。

24 件の回答



お話は分かりやすかったですか？

23 件の回答



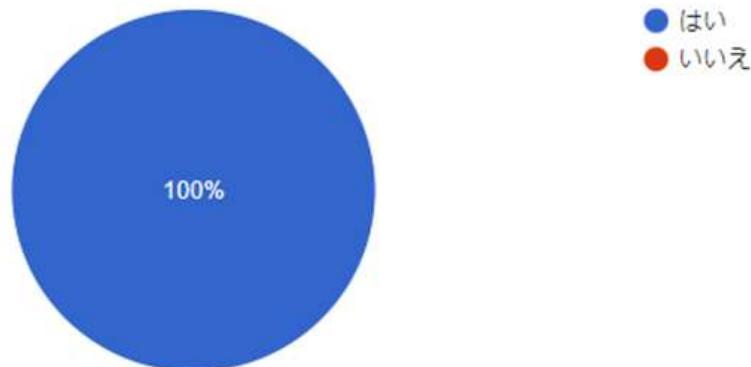
上記回答（分かりやすかったかどうか）の理由をお聞かせください。

- ・ ムービーやリアルタイムでの現地案内等とても分かりやすくありがたかったです。
- ・ 構成がしっかりしていたので順を追って理解ができました。
- ・ 工程の動画、現地の映像など、臨場感がありよかったです。
- ・ ティンガティンガがどういうものか、どうやって描かれているのかの説明と動画が分かりやすかったです。
- ・ ティンガティンガアートの特徴、描き方、そして協同組合としてアートとアーティストを守っている様子を具体的に説明していただいたので。
- ・ コーディネーターが素晴らしかった
- ・ ともみさんの説明やスライドがわかりやすかったです。
- ・ 国とティンガティンガ村の、映像をベースにした説明がコンパクトで、限られた時間ながら大まかな理解が叶い、とても充実した時間となりました。現在の現地の様子についてもお話しくださり、直ぐには来訪は叶いませんが、希望を持つことができました。

- ・ 聞き取りやすく難しくない内容だった。
- ・ ティンガティンガの由来や運営、作業場など、知りたいことが全て知ることができました。
- ・ タンザニアの通訳の方の明晰な説明が適切でした
- ・ レイモンドさんによる、オンタイムでのティンガティンガのアトリエや作品の絵描き方法の紹介、渡辺さんの分かりやすい説明、そして通訳するタイミングがとてもよかったです。
- ・ ティンガティンガの歴史や制作の過程など、知ることができた。
- ・ 説明が具体的でとても分かりやすかったです
- ・ 事前の準備が良かったのかと思います。通訳もスムーズで端的に伝えていただけて良かったです。
- ・ 村の様子が映像とともによくわかった
- ・ 丁度良い感じで通訳が入って分かりやすかった。映像も綺麗で見ながら説明を聞いてあきなかった。
- ・ 現地の方の説明や、動画もあったので丁寧なワークショップでした。
- ・ プレゼンテーション用のパワーポイントなど、説明点がコンパクトにまとめられていて、スピードも速すぎず遅すぎず、とても分かりやすかったです。渡邊友美さんも、現地からの音声にも関わらず、とてもクリアで明瞭な音声で終始気持ちよく視聴させていただくことができました。
- ・ とてもスムーズに、かつ、気になるポイントをギュッと凝縮してお伝えいただけだったので。
- ・ 画面共有と、口頭説明のバランスがいい感じでした。
- ・ コメンテーターの方が皆さん慣れた感じで、適確にお話しを頂けたのでストレスフリーに感じました。
- ・ 現地の方からのお話を直接に伺えたことや映像を使ったことで具体的によく様子が理解できた。

当日のワークショップ、原画送付など、企画を楽しめましたか？

24 件の回答



- ・ この参加料で素敵な原画までいただけてとっても嬉しいです。
- ・ まさかレイモンドさんの原画が送られてくるなんて、とてもティンガティンガの絵画、タンザニアの芸術が身近に感じられました。現地でのリアルタイムでの交流もあったので、空気感が伝わり、オンラインならではの楽しみ方ができました。
- ・ 原画が素敵でした
- ・ 1時間という限られた時間でしたが、現地の様子、アーティストの方々やアトリエを見ることができて臨場感のある充実した時間でした。
- ・ アートを、説明で聞くだけでなく、実際に手にすることができたことで、画材の様子が分かり、制作場所や制作の様子について、より興味深く聞くことができました。タンザニアとつないでいただいたおかげで、現地の雰囲気を感じることができたので、また作品にも愛着が増しました。
- ・ なかなか手に入らない原画付きで、かつタンザニアの現状を垣間見れたから。
- ・ 現地の様子や制作過程の動画が臨場感があり楽しかったです。
- ・ 作者から直接お話を伺うことで、またお人柄も伝わり、送っていただいた作品がより大切なものになりました。実際に組合の内部を案内くださり、制作現場に旅をした様な感覚が嬉しいです。お休みの日にもかかわらず、制作している方もいらして、様子が良く伝わりました。

- ・ どの絵が届くかワクワクした。
- ・ 送って頂いた絵も好きなテイストでしたし、購入予定の絵もどれにするか迷うほど好きな物がたくさんありました。
- ・ この様な機会がなければ、現地で生活される日本人がおられる心強さを感じることができなかったと思いました
- ・ 原画を事前にプレゼント送付頂いたことで、ティンガティンガとはどんなものかを把握できた上で作品の描き方やタンザニアについて何うことができたのでより理解することが出来たため。
- ・ どんな作品が届くのかワクワクしたし、嬉しかった。
- ・ 事前にアートをお送りくださったおかげさまで色の鮮やかさ質感などを確認することができました。ありがとうございました
- ・ 現地に行ったかのように楽しめました。色々な画家さんの姿も見れましたし、実際に描いている工程の動画が良かったです。
- ・ 絵が完成するまでの過程を見ることができた。村のアーティストの方々の姿も拝見できた。
- ・ ガチャポンと同じで、どんな絵が来るのか開ける時までワクワクした。
- ・ 事前にティンガティンガの作品も送って頂き、ありがとうございました。
- ・ ダイナミックなティンガティンガの絵を実際にライモンドさんが描かれていた様子、ぶれずに描かれていく丁寧さなどを目の当たりにして、心を動かされました。
- ・ オンラインだけでなく、手元に作品を届けていただいたことでオンライン独特の無機質さが軽減されたこと。
- ・ 手元にある作品を描いた方とリアルタイムで繋がっていることの感動。
- ・ タンザニアからの動画がスタートする前に、あちら側の wifi 事情で、画像に問題が発生するかもしれないとのお知らせを頂いた直後に、まさかの、自分の wifi が切れました (爆笑)。ワークショップ終了後に動画を共有頂いてありがとうございます。
- ・ ティンガティンガを直接手に取って見られたことやアフリカの国と関わられたこと。

そのほか、ご意見、感想がありましたらお願いします。

- ・ 応援しています。これからも頑張ってください！
- ・ 終わった後で思いついたのですが、描き直したりすることはあるのですか？その場合はどんな風に描きなおすのだろう？と疑問に思いました。もし可能なら教えていただきたいです。
⇒調査中です。回答が頂けたら掲載します。
- ・ パソコンの調子が悪く急遽スマホでの参加となりました。
- ・ 途中からの参加で画面も小さかったですが絵を描く工程が見れて良かったです。
- ・ ありがとうございました。
- ・ 諸事情により外出先から接続していたためビデオ/音声 OFF で参加させて頂きましたが、とても楽しい時間でした。ありがとうございました。
- ・ ワークショップの開催、ありがとうございました。とても興味深く、楽しみました。送っていただいたはがきサイズの商品もとてもすてきで、楽しんでます。小さいサイズのおかげで、職場で皆さんに見てもらえることもできました。また、このような機会があれば、また作品を見せながら友人に声をかけたいと思います。
- ・ 日本でも関係する活動のあったスタバやジミー大西さんについてご紹介くださいましたが、当時は存じ上げず(レイモンドさんが今春来日してらしたことも残念ながら知らずでした)、これから日本でも幅広く出会える機会が増えることが楽しみです。現地へ旅することが叶う日まで、新たなアフリカ理解さんの企画や、地図や言語を頼りに楽しみに学びたいと思います。
- ・ 今後もぜひ参加したいですし、購入できるサイトなどができたら嬉しいです。
- ・ 絵が現地価格で購入できることも嬉しいし、彼らのサポートになるならなお嬉しい。互いに win-win で素晴らしい企画だと思った。
- ・ 参加費用のみならず、アートのプレゼントまでついて 3,000 円は、とても魅力的な価格設定をして

くださったと思います。もちろんプロジェクトの皆様のボランティアがあつてのことだと思いますが、これからも、もっとたくさんの方々に広まってゆくと良いですね。よい刺激をいただきました。ありがとうございました。

- ・ 今後も入手しなくなった際に気軽に購入できるサイトがあれば嬉しいです。
- ・ TINGA TINGA 村が組合組織となっていて 18 歳以上であれば入会でき、志ある人々の生きがい、生活の糧になっていることがわかりうれしかった。
- ・ ZOOM 初体験でした。
- ・ タンザニアからの映像や音声綺麗な事に驚きました。
- ・ 作品を見た事はあったのですが、今回のように下地の作り方から出来上がるまで通しでは見た事が無かったのでとても興味深かったです。
- ・ 皆さんからの質問に答える形で、お話し頂いた、現地では皆さんがコロナによる収入減、社会インフラの値上がり直面していることを実感し、胸が痛みました。このように遠方の国と繋がれて、何がしかの知見が増えたりささやかな貢献ができる機会をととてもありがたく思います。今回は、ワークショップ開始直前にお申し込みをさせて頂いたにも関わりませず、ご対応いただいたことに感謝しています。
- ・ オンラインに不慣れ、あまり好きではないのですが、本当にワクワクする時間を過ごさせていただきました。ありがとうございます。
- ・ ひとつ、気になったのですが、アーティストの方は油性ペンキをお使いとのこと。当然、薄め液やシンナーなども使用なさると思うのですが、健康被害などはないのでしょうか。心配です。
⇒ティンガティンガ村はオープンスペースなので、換気は良い状態で問題はないとのことでした。
- ・ 事前の連絡から、当日の対応まで、親切、かつ丁寧にご対応いただき感謝しています。
- ・ NPO や、海外支援活動をなさっている方の中には、思いは強くても少々社会性に欠ける(不慣れな)ところも有ると、これまでの印象があるのですが、アフリカ理解プロジェクトさんは、すべての面で素晴らしく、レベルが高いなあと信頼しています。
- ・ また、何か楽しい企画がありましたら、ぜひ参加させていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。
- ・ ティンガティンガを通して、アーティストの応援ができたことがとても良かった。

アンケートへのご協力ありがとうございます。今後の改善に生かしていきます。